

平成28年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

「住民主役の支えあいのまちづくり ～安心して暮らせる地域を育むために～」を基本理念に誰もが住み慣れた地域で「お互いさま」の精神で、互いに助け合い、支えあって安心して暮することができるまちづくりに取り組んで参りました。また、東御市就労支援センター「まいさぼ東御」の開設で総合相談の窓口機能を高め、日常的に生活や就労に困っている市民に向けて、相談体制の構築を行政と連携しに取り組みました。

平成28年4月から平成29年3月までの主な事業は、次のとおりです。

I. 組織運営の強化・人材育成

1. 法人組織の運営・体制の強化

(1) 理事会（6回）

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第 60 回 28. 5. 20 (金)	14 人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の交替について ・平成 27 年度事業報告及び一般会計決算について ・評議員会の議題について
第 61 回 28. 6. 1 (水)	15 人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長の選任について ・顧問の委嘱について ・常務理事の指名について
第 62 回 28. 9. 6 (火)	14 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度一般会計補正予算（第 1 号）について ・指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について
第 63 回 28. 12. 14 (水)	14 人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の交替について ・平成 28 年度前期事業の概要並びに一般会計中間決算の状況について ・平成 28 年度一般会計補正予算（第 2 号）について ・社会福祉法の改正に伴う東御市社会福祉協議会の定款の全部改正について ・平成 28 年度事業計画について ・評議員会の議題について
第 64 回 29. 2. 16 (木)	13 人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会の議題について ・評議員選任・解任委員会運営規定について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員候補者の推薦について
第 65 回 29. 3. 22 (水)	14 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度一般会計補正予算（第 3 号）について ・東御市社会福祉協議会定款細則の一部改正について ・東御市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・東御市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・東御市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・平成 29 年度事業計画及び一般会計予算について ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の議題について

(2) 評議員会 (3回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第 31 回 28. 5. 23 (月)	28 人	・平成 27 年度事業報告及び一般会計決算について ・理事・監事の選任について
第 32 回 28. 12. 21 (水)	24 人	・理事・監事の交替について ・平成 28 年度一般会計補正予算 (第 1 号) について ・平成 28 年度一般会計補正予算 (第 2 号) について ・理事の選任について ・社会福祉法の改正に伴う東御市社会福祉協議会の定款の全部改正について
第 30 回 29. 3. 29 日 (水)	28 人	・理事の交替について ・平成 28 一般会計補正予算 (第 3 号) について ・東御市社会福祉協議会定款細則の一部改正について ・平成 29 年度事業計画及び一般会計予算について

(3) 監 査

○税理士による事前監査

平成 28 年 5 月 11 日 (水)

平成 28 年 11 月 2 日 (水)

○監事による監査

決算監査 平成 28 年 5 月 16 日 (月)

中間監査

平成 28 年 11 月 10 日 (木)

(4) 支部長会

・期 日 平成 28 年 7 月 5 日 (火)

・会 場 総合福祉センター 講堂

・参加者 60 人

・内 容 ① 平成 28 年度 社会福祉協議会の会費募集について
② 平成 28 年度 赤い羽根共同募金の取り組みについて

(5) 法人内の連携

・各種プロジェクト (広報・福利厚生・災害マニュアル) の設置・推進

・グループウェアの導入で、情報共有をはかる

・社協発展・強化計画の推進 係での目標設定と検証

(6) 情報共有会議の開催

<全体会> 全 4 回

○平成 28 年 4 月 13 日 (水) 事業計画説明、個別課題を抱えるケースについて

○平成 28 年 7 月 21 日 (木) 事業説明、発展強化計画について

○平成 28 年 10 月 26 日 (水) プロジェクトの経過報告、発展強化計画について

○平成 29 年 1 月 11 日 (水) 苦情対応について

<部会> 全 10 回

○内容 : 地域福祉に関すること、事例検討、事業課題と情報の共有

平成 28 年 5 月 30 日 (月)、6 月 21 日 (火)、8 月 23 日 (火)、9 月 15 日 (金)

10月13日(金)、11月22日(水)、12月27日(水)
 平成29年1月24日(火)、2月6日(月)、3月13日(月)

2. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会への寄付

- ア. 現金 総額 1,055,368円 個人6人 12団体
 イ. 物品 16人・3団体
 介護ベッド 1台、ポータブルトイレ 5台、車椅子 7台、紙おむつ、
 尿取りパッド、古タオル、雑巾、リハビリパンツ、下着類、ハガキ、
 介護食品、介護用品、衣類、シャワーチェア 1台
 ウ. ウェス 22件 (団体・個人)

(2) 社協会員の加入状況と会費の収納

会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合計
人数	6,069人	981人	166法人	
金額	6,067,300円	1,964,000円	1,605,000円	9,636,300円
27年実績	6,059,800円	2,106,000円	1,665,000円	9,830,800円

3. 研修事業・人材育成

(1) 役員研修

① 長野県社会福祉大会

- ・期日 平成28年9月14日(水) 20人出席
- ・場所 長野市芸術館 大ホール
- ・内容 式典 表彰等
 実践報告 「オレンジカフェ活動に取り組んで」 市地域包括支援センター
 「社会福祉法人による地域貢献活動について」 ななせ仲まち園
 講演 「人生は8合目からが面白い」
 講師 田部井 淳子 氏

② 社会福祉トップセミナー

- ・期日 平成28年11月30日(水) 4人出席
- ・場所 ホテルブエナビスタ グランデ
- ・講演 「福祉制度改革とこれからの社会福祉協議会」
 講師 全国社会福祉協議会 常務理事 渋谷篤男 氏
- ・実践報告 「協働で取り組む地域公益活動」
 ～安来市社会福祉法人連絡会の取組～
 安来市社会福祉協議会 地域包括支援センター長 足立卓久 氏

(2) 職員研修

① 相談援助技術について

- ・期日 平成28年8月31日(水) 25人出席
- ・研修内容 「相談援助技術 ①」

- ・期 日 平成 28 年 12 月 26 日 (月) 23 人出席
- ・研修内容 「相談援助技術 ②」
- ・期 日 平成 29 年 2 月 10 日 (金) 24 人出席
- ・研修内容 「相談援助技術 ③」
- ② メンタルヘルス研修 26 人出席
 - ・期 日 平成 28 年 10 月 6 日 (木)
 - ・研修内容 「ストレスに関する基本的な知識、ストレスへの対処法」
- ③ 接遇研修 31 人出席
 - ・期 日 平成 28 年 11 月 14 日 (月)
 - ・研修内容 「接遇研修～接客マナースキルアップ講座～」
- ④ 外部研修

苦情対応実践講座、安全運転管理者研修会、権利擁護セミナー、社協職員基礎研修会、会計実務研修、精神障がい者地域生活支援研修会 法人運営・経理研修会、企業人権同和研修会、市民活動協働を考える研修会 新総合事業研修会、生活支援員研修会、生活困窮者自立支援員研修会、苦情対応システム研修会、災害ボランティア運営者研修会、社協中堅職員研修会 高齢者疑似体験インストラクター研修会、障害者虐待防止権利擁護研修会、家計相談支援事業従事者養成研修会、ひきこもりを理解するための学習会 生活支援コーディネーター養成研修会、介護支援専門員実務研修会 上小介護保険事業連絡会研修会、介護と医療連携研修会、清潔の介護研修会等
- ⑤ 上小ブロック役職員研修
 - ・期 日 平成 29 年 2 月 1 日 (水) 16 人出席
 - ・場 所 東御市総合福祉センター
 - ・テーマ 「個別支援と地域づくりのプロを目指して～発達障害の基礎理解を深めて支援に活かそう～」
 - 研 修 「発達障害の基礎理解～A concept of 脳の機能障害～」
 - 講 師 NPO 法人ふわり ケアコンサルタント
有限会社 SNOW DREAM 取締役 山口 久美氏
 - 情報交換会「社協自慢～おらほの社協の取り組み～」上小ブロック 4 社協
- ⑥ 関東ブロック職員合同研究協議会
 - ・期 日 平成 28 年 7 月 14 日 (金)～15 日 (土) 1 人出席
 - ・場 所 新潟県湯沢町 NASPA ニューオータニ
 - ・内 容
 - 基調講演 「ラブ・ラフ・ライフ」
新潟お笑い集団 MANARA 代表
(有) ナマラエンターテイメント代表取締役 江口 歩 氏
 - 5つの分科会で研究協議
 - 記念講演 「地域とともに ～魚沼の食と文化を伝える～」
講師 有限会社魚沼新潟物産代表取締役社長 中俣 善也 氏

(3) 実習生の受入

相談援助実習	長野大学 3年	2人	(夏季	8月8日~8月31日)
		3人	(春季	H29.2月15日~2月25日)
訪問介護実習	長野大学 2年	2人	(春季	H29.2月15日~2月24日)
	上田福祉敬愛学院 2年	2人		(H28.8月1日~8月5日)
介護支援専門員実習	上田千曲高等学校 2年	1人		(H28.10月20日・21日)
		1人		(H29.2月13日, 14日, 16日)

(4) 職員の講師等の派遣

- 介護支援専門員更新研修（実務未経験者）及び再研修 1人
 - ・期 日 平成28年8月2日（火）
 - ・対象者 介護支援専門員実務未経験者、他 47人
- 介護支援専門員実務研修 1人
 - ・期 日 平成28年12月20日（火）
 - ・対象者 平成28年度介護支援専門員実務研修受講試験合格者 150人
- 認知症サポーター養成講座 5人
 - ・期 日 平成28年8月21日
 - ・対象者 消防団員 38人
- 生活困窮者自立支援事業推進セミナー 1人
 - ・期 日 平成28年4月
 - ・対象者 生活困窮者自立支援制度に関わる者等

4. 苦情対応

- (1) 苦情受付状況 期間 平成28年4月1日~平成29年3月31日

区分	件数	内容
訪問介護事業	1	担当ホームヘルパーに対する苦情

- (2) 苦情対応実践講座 平成28年6月16日（木） 5人出席
- (3) 苦情対応システム研修会 平成28年10月27日（木） 7人出席

5. 連絡調整事業

- (1) 福祉関係団体との連絡会議

- ・期 日 平成28年4月25日（月） 福祉団体長会議
- ・期 日 平成28年10月7日（金） 障がい者福祉のつどい実行委員会
- ・期 日 平成28年12月9日（金） 同 反省会

- (2) 民生児童委員会との協働

地域福祉事業の周知・啓発・事業に関する協力
福祉活動に対する助成金の交付
理事会・全体会への出席

(3) 社協法人会員の皆様へ社協事業に対する情報提供

II 総合相談、支援事業の推進

1. 生活困窮者自立支援事業

(1) 自立相談支援事業

東御市生活就労支援センター「まいさぼ東御」は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮されている、または恐れのある方の総合的な相談窓口を東御市から受託し運営した。幅広い年齢層の相談があり、経済的困窮のほか、社会的孤立（ひきこもりや長期離職者等）や複雑な課題を抱えた世帯全体の相談を包括的に受け、就労や生活改善につながった。

相談員：3人

<相談件数>

新規相談件数 76件 継続支援件数 延 439件
 プラン作成件数 39件 相談対応件数 延 2,500回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規	10	8	9	7	3	7	6	7	5	4	5	5	76
継続	39	38	31	36	34	35	37	43	40	38	36	32	439
プラン作成	4	4	4	3	3	3	4	4	2	2	4	2	39
相談対応	194	231	210	189	230	197	193	186	217	218	239	196	2,500

<性別・年齢構成>

年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	70歳代	不明	合計
男	1	9	7	5	9	4	2	0	0	37
女	2	11	4	7	6	6	2	1	0	39

<相談者の主な主訴と主な支援内容 上位3番目>

順位	主訴	支援内容
1	仕事探し・就職	病気・健康・障害
2	収入・生活費	就労支援（一般）
3	病気・障害	その他

<相談支援実績>

就労件数	就職活動応援金付職場体験事業	資金貸付件数	生活保護受給件数
20件	(プチバイト) 6件	4件	6件

<法に基づく事業の利用>

制度	件数	利用後の経過
住居確保給付金	2件	就労、その他

就労準備支援事業	3件	就労、就労訓練、障害手帳取得
就労訓練事業	3件	継続中
自立相談支援事業による就労支援	26件	就労、プチバイト、就労訓練等

(2) 家計相談支援事業

家計状況を家計表やキャッシュフロー表に整理し、相談者の家計管理の意欲を引き出す相談支援をした。また必要に応じ、債務整理や貸付のあっせんなどを行った。

相談員：1人

<利用による改善の状況>

利用件数（プラン作成件数） 7件

内容	件数	内容	件数
自身の家計の現状把握	5	将来の収支変化の見通し	1
家計管理の重要性の認識	1	自立意欲の向上・改善	2
支出費目の優先順位位置付け	2	生活習慣改善	2
家計の範囲内での支出	6	対人関係・家族関係の改善	1

(3) 支援調整会議 12回

(4) 東信地域まいさぼ連絡会議 4回

2. 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある判断能力が不十分な方々が、東御市で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談や金銭管理などの援助をした。

専門員：5人 生活支援員：6人

(1) 相談件数 延4,656件（新規・既契約含む）

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延321回	延975回	延50回	41人 181件

(2) 実利用者数 41人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
新規	0	3	3	0	6
解約	0	2	3	3	8
総件数	8	11	13	9	41

*新規契約件数6件、解約件数8件（うち成年後見制度移行件数0件）

(3) 専門員・支援員利用援助回数 延975回

(4) 金銭管理、財産保全サービス事業（市社協扱い）契約件数 0件

3. 生活困難・困窮者への支援

- (1) 生活支援の貸付相談件数 延 79 件
- (2) 生活資金貸付総件数 (市社協扱い)
 ◆生活資金(助け合い資金) 30 件 581,000 円
- (3) 生活福祉資金貸付総件数 (県社協扱い)
 ◆緊急小口資金 1 件 84,000 円
 ◆教育資金 1 件 474,000 円
- (4) 緊急食糧給付件数

○食糧支援用受入

種 別	内 容
個人寄付	米 140 kg
フードバンク信州	※レトルト食品等
寄付金による食糧購入	※レトルト食品等

○食糧支援 延べ回数：33 回 世帯数：19 世帯

支援者	回 数
東御市社会福祉協議会扱い	31
フードバンク信州	2

(※ 缶詰、レトルト食品、味噌汁、カップめん等)

- (5) 生活福祉資金等貸付相談嘱託員の設置 相談員 5 人
- ・滞納世帯への訪問 102 回
 - ・償還延回数 23 件
 - ・償還額 23,000 円

4. 結婚相談事業

424,309 円

- (1) 相談状況 相談員 5 人
- ・相談日 毎週日曜日 午前 9 時～正午
 - ・相談場所 中央公民館 学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
43 日	延 179 件	111 人	17 件	8 件

- (2) 東御市結婚活動支援実行委員会
- ・結婚相談員長と社協事務局が実行委員として参加
 - ・講演会及びイベントの協力(随時)
- (3) 三市町村結婚相談員連絡会事業 (東御市、長和町、青木村)
- ① 三市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会

・年間（毎月開催）12回 参加人数 延 60人

② 婚活講座の開催

- ・期 日 平成 28 年 6 月 25 日（日）
- ・会 場 青木村
- ・参加者 20 人（出会いのイベントに参加する男性及び結婚相談員等）
- ・講 義 演題「学校では教えてくれない愛される人になる授業」
講 師 ながの結婚支援センター 溝端 勇二 氏

③ 出会いのイベント「ふれあいパーティーin女神湖」

- ・期 日 平成 28 年 7 月 10 日（日）
- ・会 場 立科町「ホテルアンビエント蓼科」 他
- ・参加者 31 人（男性 17 人、女性 14 人）
- ・内 容 レクリエーション、会食等
- ・マッチング 1 組（相談員の支援により交際に発展 5 組）

Ⅲ 地域福祉活動

【 地域ささえあい活動の支援・推進 】

1. おらほの地域福祉づくり事業

<継続支部>

9支部

270,000 円

支部	目 的	取り組み内容
伊勢原	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
栗林	いきいきサロン活動の活性化	ご近所福祉アンケートを基にした、サロンメニューの検討と充実
日向が丘	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
田之尻	地域の絆を深める活動の充実	三世代交流行事の実施及び災害時支え合い台帳の整備
桜井	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
乙女平	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
東上田	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
田沢	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
海善寺北	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備

<新規支部>

7支部

210,000円

支部	目的	取り組み内容
祢津南	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
大石	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
別府	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
新屋	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
御牧原南部	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
御牧原北部	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
本下之城	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備

2. 支部福祉活動の支援

(1) 支部福祉活動助成金の交付 67支部 2,081,000円

(2) いきいきサロン等助成事業 1,412,080円

・実施支部 49支部 ・総参加者 9,520人

事業	会食会	茶会	世代間交流	ふれあい訪問
回数	216回	171回	4回	13回
参加者数	6,189人	3,224人	107人	

(3) 地区別地域福祉懇談会

・総参加者数 284人

・内容 社協の事業説明、福祉運営委員の活動説明、支部ごとの懇談等

地区	開催日	場所	人数
北御牧	平成29年2月15日(水)	北御牧公民館	55人
滋野	平成29年2月17日(金)	滋野コミュニティーセンター	57人
祢津	平成29年2月20日(月)	総合福祉センター	45人
田中	平成29年2月22日(水)	中央公民館	62人
和	平成29年2月24日(金)	和コミュニティーセンター	65人

(4) 地域活動援助講座

○ いきいきサロンのための料理講習会 2回

・対象者 各区福祉運営委員

・講師 東御市食生活改善推進協議会会員

期 日	テーマ	参加者
7月15日(金)	いきいきサロンを楽しくするデザートを作ってみよう！！	10人
9月16日(金)	サロンで食事会！！～高齢者にやさしい食材を使った献立～	19人

(5) 地域の絆づくり支援事業

・レクリエーション用品の貸し出し

(ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等) 192件

・支部福祉活動の相談会 21回

(6) 地域への出前講座 37回

講座	回数	講座	回数
介護予防体操（レクリエーション）	18回	エンディングノート	8回
認知症講座	4回	介護保険制度	3回
ボランティア活動について	1回	地域のサロンの紹介	2回
地域の支え合い活動の紹介	1回		

3. 福祉のまちづくり講座「とうみ男の遊び塾」

◆延べ参加者 24人 ◆実参加者数 11人

回数	開催日時	開催場所	開催内容	人数
1	12月21日(水) 9:30～	保健センター	男の餅つき塾	7人
2	H29 1月18日(水) 13:30～	ボランティアルーム	男のカメラ塾	7人
3	2月 8日(水) 8:30～	飯山、野沢温泉	男の雪かき塾	5人
4	3月15日(水) 17:00～	高齢者センター	男の作戦会議	5人

4. 介護講座「あった介護教室」

・テーマ “高齢者介護施設見学ツアー”

・期 日 平成29年3月25日(土)

・会 場 市内及び上田市の高齢者介護施設

・参加者 介護者及び介護に興味・関心のある者 9人

5. 福祉自動車貸し出しサービス事業

494,823円

・登録者 利用会員数 96人

・利用延回数 223回

6. 福祉用具貸与事業

671,412円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	65	83
車椅子	80	146

マットレス・エアマット	66	84
ポータブルトイレ	37	42
その他（歩行器等）	22	14
合 計	270	369
※車いすの利用件数の内、47件は短期間の貸出件数		

【 共同募金配分事業 】

1. 高齢者への活動

(1) ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○ふれあい会食会 364,873 円

- ・期 日 平成 28 年 6 月 22 日（水）
- ・場 所 上山田温泉 圓山荘
- ・参加者 一人暮らし高齢者 59 人参加

○おせち料理 219,685 円

- ・期 日 平成 28 年 12 月 29 日（火）、30 日（水）
- ・調理ボランティア 女性民生児童委員 延 59 人
- ・訪 問 担当民生児童委員 延 56 人
- ・対象者

合 計	一人暮らし高齢者	父子家庭	高齢者世帯	障がい者世帯
135 世帯	111 人	1 世帯	8 世帯	7 世帯

(2) 敬老祝賀事業

○金婚祝賀 祝品（慶祝上の額）の贈呈 43,050 円

- ・金婚祝賀式典 平成 28 年 9 月 20 日（金）
- ・該当者 35 組
- ・会 場 中央公民館 講堂

○敬老祝賀 祝品の贈呈 591,000 円

- ・対象者 合計 185 人（米寿祝 167 人・白寿祝 18 人）
- ・祝賀訪問 51 人 平成 28 年 9 月 28 日～29 日

2. 障害者への活動

(1) 障がい者福祉のつどい 243,850 円

- ・期 日 平成 28 年 11 月 26 日（土）
- ・会 場 中央公民館 講堂
- ・参加者 福祉団体等から 164 人
- ・内 容
 - ◆ アトラクション 『越後警女唄』 広 沢 里 枝 子 さん
 - ◆ 講 演 「自分の可能性を求めて」
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事

リオデジャネイロパラリンピック競泳日本代表 成田真由美 氏
 (※リオデジャネイロパラリンピック報告会と兼ねる)

◆ 福祉団体交流会

(2) 障がい者社会参加支援事業助成 200,000 円

① 笹川スポーツ財団「チャレンジデー in 東御」における「ボッチャ」の実施

開催日 平成 28 年 5 月 25 日(水)
 場 所 ケアポートみまきふれあいホール
 対 象 地域市民 参加人数 : 57 人
 内 容 ・ボッチャのコートを一日常設

② 第 2 回長野県ボッチャ選手権大会開催への協力支援・体験会の同時開催

開催日 平成 28 年 6 月 11 日(土)
 場 所 東御市第一体育館
 参加人数 89 名 (うち選手 11 人、体験会参加者 38 人)

③ リオデジャネイロパラリンピック報告会の開催

※「東御市障がい者福祉のつどい」共催

④ 「障がい者スポーツ体験教室」への開催協力 東信地区障がい者スポーツ指導者協議会主催

開催日 平成 28 年 11 月 13 日(日) 9:30~12:00
 場 所 東御市立田中小学校体育館
 対 象 東信地区の障がいのある方とそのご家族、
 障がい者スポーツに興味のある方 参加人数 133 人
 内 容 ボッチャ・フライングディスク・ダブルダッチの紹介・体験

⑤ ユニバーサルスポーツの場づくりへの支援

1) 「わくわくスポーツクラブ」への支援

開催形態 平成 28 年 5 月~平成 29 年 1 月 全 8 回
 毎月第 3 土曜日、いずれも 10:00~12:00
 場 所 東御市第 2 体育館及びケアポートみまき
 内 容 障がいのある人もない人も一緒に楽しめる『ボッチャ』を中心とした活動。
 ※10 月サンスポート松本『ボッチャ交流大会』への参加。

日付	5/21	6/18	7/16	9/17	10/10	11/19	12/17	1/21	計
人数	25	29	36	40	37	39	34	15	255

2) 2/18 ボッチャ交流大会開催支援 ⇒ 参加者数 100 名 (17 チーム参加)

3) 障がい者のスポーツ参加のきっかけづくり支援

- ・ゆるりの会トレーニングセンター体験 1 回
- ・はこべの会ボッチャ体験 1 回
- ・上田養護学校水泳支援 4 回
 - ・上田養護学校ボッチャ体験支援 1 回
 - ・北御牧地区冬季スポーツ大会 1 回

⑥ その他

- ・当事者とその家族を対象としたスポーツ活動に関する実態調査の実施。
- ・はこべの会ボッチャ体験に合わせ、座談会にてアンケート調査実施。

3. ボランティア活動

(1) ボランティア連絡協議会・グループへ活動補助金の交付 29 団体 545,000 円

- (2) 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」 4回 75,222円
 ・講師 花岡 照江 氏、田口 文子 氏

期 日	テーマ	参加者
8月20日(土)	カリカリ豚スタミナ丼 他	10人
10月8日(土)	あんかけ焼きそば 他	7人
12月10日(土)	そばづくし	12人
平成29年2月11日(土)	鯉の旨煮 他	12人

4. 児童への活動

- (1) ひとり親家庭交流支援事業 569,214円
 ・期 日 平成28年12月3日(土)
 ・場 所 東京ディズニーシー
 ・参加者 22世帯(大人22人・子供23人、未満児1人)
- (2) 福祉協力校の指定、活動助成(8校) 400,000円

5. 社会福祉の啓発

- (1) 社協報「ほほえみ」(ボランティア情報「かわら版」含)の発行 2,626,536円
 ・発行回数 年6回 奇数月の16日発行
 ・発行部数 10,800部
 ・編集委員 3人
- (2) 啓発パンフレットの作成、配布 186,840円
 ・「社協のしおり」、「地域福祉活動の手引」各600冊
- (3) ホームページで情報発信
 ・社協ブログの開設 [アドレス URL <http://www.tomisyakyo.or.jp>]
- (4) 介護の日「福祉講演会」の開催 113,000円
 ・期 日 平成28年11月12日(土)
 ・場 所 東御市総合福祉センター3階 講堂
 ・来場者 82人
 ・内 容 ◆講演「多様化する介護課題を考える」
 講師 社会福祉法人依田窪福祉会 常務理事 村岡裕 氏

6. 多世代サロン

- (1) 多世代交流サロン “おいでよサンサン” 96,449円
 ・開催回数 合計12回(H28.4~H29.3 各月1回)
 ・参加者数 延105人(乳幼児3人含)
 男:15人(“ 4人含) 女:90人(“ 1人含)
 ・内 容 子供から大人まで多世代にわたり交流する拠点づくりと、高齢者の生きが

いづくり、世代間の知恵の継承や情報伝達の場づくり

IV 福祉教育、ボランティア活動の推進

1. 福祉教育の推進

<活動内容>

学校名	内 容
田 中	さんらいずホール・岩井屋・フォーレスト利用者との交流会、特別支援学級との交流会、福祉体験学習、書き損じハガキ・エコキャップ等の収集、赤い羽根共同募金など
滋 野	地域のお年寄りとの交流、保育園児との交流、福祉体験学習、エコキャップ回収、ユニセフ・赤い羽根共同募金、福祉講演会など
祢 津	ハーモニック東部との交流、祢津保育園との交流、ネットタイムで地域の方と交流、特別支援学級との交流、歌舞伎の発表、福祉体験学習、ユニセフ・赤い羽根共同募金など
和	和保育園との交流、特別支援学級との交流、福祉講演会、福祉体験学習、ユニセフ・赤い羽根共同募金、エコキャップ・アルミ缶・書き損じハガキ収集
北御牧	ケアポートみまき利用者との交流、北御牧保育園児との交流、通学路・バス停のごみ拾い、福祉体験学習、特別支援学級の交流、ユニセフ・赤い羽根共同募金、エコキャップ・アルミ缶・書き損じハガキ収集など
東部中	道の駅「雷電くるみの里」の清掃、エコキャップ収集、福祉体験学習、福祉の森フェスティバル、赤い羽根共同募金、アルミ缶収集など
北御牧中	通学路清掃、人権教育講演会、高齢者との交流、火のアートフェスティバル・敬老会参加、書き損じハガキ・アルミ缶・エコキャップ等の収集、赤い羽根の共同募金など
東御清翔高	全校クリーン作戦、子どもフェスティバル、ジュニア野外体験学習、ふれあいフェスティバル、人権平和学習、長野県高等学校総合文化祭、福祉の職場体験学習など

<福祉体験学習>

学校名	実施回数	講師	ボランティア	延人数	内 容
田 中	1回	1人		200人	福祉講演会
滋 野	3回	4人	14人	134人	車いす体験、対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、点字体験、福祉講演会
祢 津	2回	8人	15人	131人	手話体験、点字体験、車いす体験、対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、高齢者疑似体験
和	2回	2人		431人	アイマスク体験、福祉講演会
北御牧小	4回	14人	21人	154人	車いす体験、高齢者疑似体験、対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、手話体験、点字体験
北御牧中	1回	2人		208人	福祉講演会
東部中	5回	5人	11人	110人	らぶりー東御(車いす体験、手話体験、点字体験、福祉マップ作り)、手話体験

2. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

- ・登録数 80 団体と個人ボランティア 48 人 延 5,424 人
- ・ボランティアバンク登録者 19 人
- ・相談者数 1,780 人（電話 824 人・来所 928 人・訪問 20 人）
- ・相談件数 ボランティア依頼・受付・相談等 延 2,569 件
- ・ボランティア依頼件数 音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等 延 756 件

- (2) ボランティア活動保険の補助 合計 691 人 92,700 円
加入者数 Aプラン 16 人
Bプラン 675 人（天災Bプラン 7 人含）（社協負担 150 円）

(3) ボランティア連絡協議会の活動支援

① 自然を楽しむ会（障がい者とボランティアの交流会）

- ・期 日 平成 28 年 6 月 14 日（火）
- ・場 所 湯の丸高原（湯の丸高原ホテル、周辺）
- ・参加者 13 団体 63 人参加

② ボランティアセンター研修会

- ・期 日 平成 29 年 2 月 1 日（水）
- ・場 所 佐久市社会福祉協議会 浅科支所
- ・参加者 16 団体 34 人参加
- ・内 容
 - ・施設見学（五郎兵衛記念館、ぴんころ地蔵）
 - ・佐久市浅科地区ボランティア連絡協議会との交流会
 - ① 東御市・佐久市浅科地区ボランティア連絡協議会の活動発表
 - ② 参加者交流会（お手玉遊び、童謡唱歌、草笛など）
 - ③ 懇談会

(4) 第 40 回信州発ボランティア・市民活動フォーラム

- ・期 日 平成 28 年 12 月 3 日（土）4 日（日）
- ・場 所 塩尻市 ホテル中村屋
- ・参加者 5 人（東御市参加者）
- ・内 容
 - テーマ “ここから広がるつながりの輪”
 - 第 1 日 講演・交流会（情報交換会）
 - 第 2 日 9 分科会

3. ボランティアの養成、研修

(1) 夏のボランティア体験教室（サマーチャレンジボランティア）

- ・期 日 平成 28 年 8 月 12 日（水）
- ・場 所 東御市「芸術むら公園」
- ・内 容 障がい者との交流体験（紙すき体験・カレーづくり）
- ・参加者 22 人（体験者 9 人・講師 5 人・協力者 5 人・実習生 1 人・社協 2 人）

- (2) 手話ボランティアスキルアップ講習会 4回
- ・期 日 平成28年6月4日、6月11日の午前・午後各1回
 - ・内 容 ①初級者コース 2回 ②中上級コース 2回
 - ・参加者 延 24人
- 講 師 長野県聴覚障害者協会登録講師 矢野 吉江 氏
本木 理恵 氏
- (3) 音訳ボランティア養成セミナー 4回
- ・期 日 平成29年1月19日、2月2日、2月16日、3月2日
 - ・会 場 総合福祉センター ボランティアルーム
 - ・参加者 40人(りらの会入会4人)
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保智恵子 氏、音訳利用者 広沢里枝子 氏
りらの会会員、社協職員
- (4) 音訳スキルアップ講習会 4回
- ・期 日 平成28年9月6日、10月5日、11月10日、12月6日
 - ・参加者 延 28人
 - ・内 容 朗読技術向上
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保 知恵子 氏
- (5) 災害ボランティア養成講座
- ・期 日 平成29年3月11日(土)
 - ・会 場 総合福祉センター 3階講堂
 - ・内 容 ① 災害初動時における先遣チーム(DSAT)の運用について
説明 長野県社会福祉協議会職員
② 講演「被災時の支援体制づくり」を学ぶ
講師 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)
事務局長 明城徹也 氏
 - ・参加者 99名(ボランティア連絡協議会構成員30名・登録災害ボランティアサポーター6人・民生児童委員46人・社協職員17人)

4. 福祉の森ふれあいフェスティバル 350,000円

- ・期 日 平成28年10月22日(土)
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・参加者 参加総数1,300人(協力団体 50団体 ボランティア 300人)
- ・内 容
 - ①福祉体験コーナーの設置(手話、点訳、車イス体験等)
 - ②障がい者施設の作品を展示・販売、喫茶コーナーの設置
 - ③ボランティア団体の活動発表(展示・体験・舞台)
 - ④ふれあいコンサート
 - ⑤福祉協力校(市内小中学校)で取り組む福祉体験学習の紹介
 - ⑥模擬店

5. 福祉施設ボランティア担当者連絡会議
 ・期 日 平成 28 年 5 月 18 日（水）
 ・参加者 10 人
 ・内 容 ボランティア受入の意見交換について
6. ボランティアセンター運営委員会の開催
 ・期 日 平成 29 年 1 月 25 日（水）
 ・参加者 14 人
 ・内 容 ボランティアセンターの現況と今後の課題について

V 在宅福祉サービス・支援事業

1. 高齢者支援

(1) 介護予防事業の運営（市受託） 8,525,124 円

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施日数	一日平均
介護予防センター（火・水・木）	38 人	1,203 人	135 日	8.9 人
ゆうふるプール教室（月）	10 人	247 人	49 日	5.0 人
筋トレ教室（木） 2 教室	16 人	285 人	90 回	3.2 人

(2) こんにちは訪問事業（安否確認事業）（市受託） 38,340 円

- ・ 5 支部 利用者実人数 7 人
- ・ 訪問活動者実人数 15 人
- ・ ヤクルト配布本数 710 本

(3) 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業（市受託） 549,105 円

- ・ 実施回数 2 回（6 月 11 月）
- ・ 利用実人数 63 人
- ・ 利用者数 延 92 人
- ・ 利用枚数 173 枚
- ・ 対象者 寝具の衛生管理が困難な者

(4) 寝たきり高齢者希望の旅事業 195,672 円

- ・ 期 日 平成 28 年 5 月 25 日（水）
- ・ 場 所 長野市「真田宝物館」「信州そば蔵」「善光寺」
- ・ 内 容 バス旅行、交流会、福祉相談
- ・ 参加者 要介護者 8 人 家族介護者 4 人
 介助ボランティア 7 人 社協職員 2 人 計 21 人

(5) 在宅介護者リフレッシュ事業（市受託） 146,123 円

- ・ 実施回数 3 回

- ・内 容 健康相談、介護技術講習、健康体操、介護者交流、元気回復等

実施日	場 所	参加者
平成28年7月27日(水)	上田市 真田丸ドラマ館など	9人
平成28年11月16日(水)	小布施町 桜井甘精堂本社工場など	8人
平成29年3月8日(水)	小諸市 あぐりの湯こもろ	7人

(6) 家族介護者サロン“太陽の会” 交流会

- ・期 日 平成28年5月18日、9月21日、平成29年1月18日
- ・会 場 高齢者センター 大広間
- ・参加者対象者 20人 延22人

2. 障害者支援

(1) 重度障がい者希望の旅事業 266,441円

- ・期 日 平成28年9月3日(土)
- ・場 所 新潟県上越市「鵜の浜海岸・人魚館(昼食)、道の駅よしかわ杜氏の郷」
- ・参加者 心身障がい者 10人 介護者 4人
ボランティア 9人 社協職員 2人 計 26人

(2) 視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援 427,153円

- 利用者 7人
- ・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他
- ・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

VI 介護保険事業と障害福祉サービス

1. 訪問介護事業(ホームヘルプサービス)

(1) 訪問介護・介護予防訪問介護事業

要介護又は要支援の認定を受けた方を対象に、訪問介護計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護及び生活援助等のサービスを提供した。

重度の利用者の入院・死亡や、自宅で介護保険のサービスを利用しながら生活される利用者も減る傾向にあり、利用者の減少につながった。

○ホームヘルパー数 13人
○利用総数 延 467件

<介護度別 延利用者数>

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
28年度	38	63	128	65	64	52	57	467
割合	8%	13%	27%	14%	14%	11%	13%	100%
27年度	49	70	88	112	79	54	83	535

<月別利用者数 要支援Ⅰ・Ⅱ> 利用実人員 14人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
28年度	8	8	8	7	8	8	8	8	10	9	10	9	101

<月別利用者数 要介護Ⅰ～Ⅴ> 利用実人員 46人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
28年度	39	38	34	33	32	32	30	27	25	24	25	27	366

<サービス内訳>

サービス名	予防介護		身体介護		身体・生活		生活援助		総合計	
	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間
28年度	437	437	4,389	2,839	451	442	865	482	6142	4,200
月平均	36.4	36.4	366	237	37	36.8	72	40	512	350
27年度	515	515	6,342	4,604	430	254	736	449	8,023	5,822

(2) 障害福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害程度区分認定を受けた方のうち、介護給付費支給決定を受けた方を対象に、居宅介護等計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護、家事援助及び外出時介助等のサービスを提供した。

介護保険事業と比較し、障害サービスは専門資格及び経験が必要であるため研修の受講・資格取得等、今後どのようにしていくか検討が必要である。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
28年度	7人	57人	685回	1040.25時間
27年度	8人	72人	760回	1114時間
増減	-1人	-15人	-75回	-73.75時間

(3) 地域生活支援事業（移動支援事業）

障害程度区分認定を受けた方のうち、社会参加(買い物等)外出に係る支援が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣して外出介助等の必要なサービスを提供した。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
28年度	1人	12人	226回	226時間
27年度	2人	14人	426回	710時間
増減	-1人	-2人	-200回	-484時間

(4) ほほえみサービス事業（自費サービス）

制度外のサービスを希望される方に対し、ホームヘルパーを派遣し希望されるサービスを提供した。独居・老世帯の方の入院中の洗濯サービス等、制度では対応できないニーズへの対応を図った。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間	家事援助	通院介助	身体
28年度	5人	51回	16人	56.5時間	49回	2回	0回
27年度	8人	65回	24人	63.5時間	50回	1回	14回
増減	-3人	-14回	-8人	-7時間	-1回	+1回	-14回

(5) 内部研修

毎月1回、ヘルパー全員参加での研修を実施し、サービスの質の向上や法令順守等の定期的な研修を企画・実施した。

認知症研修等必要とされる研修の他にも、日々の訪問業務の中での実技研修等、その時々状況に即した内容の研修となるように努めた。

<定例会議・研修実績>

月	研 修 内 容
4月	・「質の高いサービス」を考える
5月	・訪問の緊急時の備え、緊急の対応
6月	・苦情対応実践講座・苦情の事例検討
7月	・事例検討
8月	・メンタルヘルス 燃え尽き症候群について
9月	・実践研修 残存機能を生かしての介助 声かけについて
10月	・実技研修 基本動作 メカニズムの確認
11月	・接遇研修 認知症の方へ 状態に合わせた対応と知識
12月	・相談援助 コミュニケーションの技術
1月	・アセスメントから利用者を知ろう
2月	・実践研修 排泄介助(オムツ交換)
3月	・来年度の体制等について

2. 居宅介護支援事業

市から介護予防支援業務の一部を受託し、要支援認定を受けられた方も、要介護認定を受けられた方も各種のサービスなどを利用しながら自宅でその人らしい生活ができるよう、本人、家族に寄り添い、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成、各サービス事業所との連携調整を図り、継続的な利用者の心身状況・生活状況等、サービス利用状況等の確認を実施した。

また、広域連合からの介護認定調査の受託や、特定事業所加算Ⅱ算定事業所であるため、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組み、毎朝のミーティングを行う等、ケースの情報を共有や定期的・計画的な研修の実施を行う等職員のスキルアップも図り体制の強化に努めた。今年度はケアマネ実習生1名を3日間受け入れた。

○ケアマネージャー人数 5人

○利用総数 延 1,685件

<活動状況>

	介護	介護予防	計
ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	1,639件	46件	延 1,685件
モニタリング訪問件数	1,639件	16件	延 1,655件
要介護認定調査（広域連合から）	43件	3件	実績 44件
担当者会議開催件数	188件	3件	延 191件
アセスメント実施件数	188件	3件	延 191件
事例検討実施件数	14件	0件	延 14件
対応困難ケース受け入れ件数	13件	0件	延 13件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

		27年度実績	28年度実績	増減
延作成件数	介護	1,623件	1,639件	+16件
	支援	20件	46件	+26件
月平均	介護	135.2件	136.5件	1.3件
	支援	2件	3.8件	+1.8件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

○要介護 ※冬季の感染症等の影響や入院・入所・死亡者もあり、利用者数の減少につながった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
28年度	136	139	138	137	140	144	143	140	136	127	129	130	1,623
27年度	133	134	130	138	136	135	141	144	133	130	133	136	1,623

○要支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
28年度	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	5	46
27年度	0	0	1	1	1	2	1	1	2	3	4	4	20

<介護度別ケアプラン作成件数>

○要介護

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
件数	571	491	299	155	123	1,639
月平均	47.5	40.9	24.9	12.9	10.3	136.5

○要支援

介護度	支援1	支援2	計
件数	5	41	46
月平均	0.4	3.4	

<研修実績>

月	研 修 内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：今後のケアマネット部会について ・第1回介護支援専門員研修演習助言者打ち合わせ会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：事例検討の持ち方マインドマップの活用について
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：意見交換会及び交流会民生児童委員との連携のとり方 ・利用者から喜ばれる居宅介護支援事業所の運営をめざして ・苦情対応実践講座
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：看取りを考える ・多職種連携会議：東御市内薬剤師の特色を知る ・判断し説明できる介護支援専門員になろう
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業所研修会 ・介護背印専門員更新研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：グループワーク在宅支援を考える（市内訪問介護事業所） ・多職種連携：リハビリ職が考える東御市の課題 ・長野県社会福祉大会 ・第1回上小医療介護連携推進研究会 ・介護支援専門員更新研修
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：グループワーク在宅支援を考える（通所介護事業所） ・第2回上小医療介護連携推進研究会 ・苦情システム研修会 ・認知症高齢者・高齢者虐待防止県民運動に関わる講演会 ・ケアプラン点検
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：認知症高齢者の支援 ・多職種連携：食は大切 ・福祉講演会 ・主任介護支援専門員更新研修
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員更新研修 ・ケアポートみまき事業所報告会 ・介護事業所医療対応力向上研修会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：事例検討会 ・多職種連携：ヘルパーは何でもしてくれるの？ ・主任介護支援専門員更新研修
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：事例検討会 ・第2回介護事業セミナー（介護保険改正の最新の動向） ・上小圏域介護保険事業所連絡協議会研修会・総会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携会議：有床診療所を知る ・ケアマネット部会：グループワーク在宅支援を考える（訪問看護ステーション）

<その他の活動>

通常業務のほか、認知症の普及・啓発活動への協力、事業所の知名度の向上を図るための情報発信等にも取り組みました。

- ・ 認知症サポーター養成講座（キャラバンメイト）
- ・ 東御市民間事業所連絡協議会への参加
- ・ 社協ホームページでのブログ掲載による情報発信
- ・ 広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

Ⅶ その他の福祉活動支援

1. 共同募金支会事業

(1) 赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金の実施（ボランティア延べ49人が参加。職員は原則2名）

実施日		場所
10月1日（火）	道の駅「雷電くるみの里」	10月13日（木） やおふく
10月3日（月）	田中駅	10月17日（月） 湯楽里館
10月4日（火）	ベイシア	10月18日（火） ツルヤ
10月6日（木）	ツルヤ	10月20日（木） 道の駅「雷電くるみの里」
10月7日（金）	道の駅	10月24日（月） ベイシア
10月8日（土）、 9日（日）	火のアートフェスティバル	10月25日（火） 道の駅「雷電くるみの里」
10月11日（火）	マツヤ	10月27日（木） マツヤ
10月12日（水）	田中駅	10月28日（金） やおふく

○福祉の森ふれあいフェスティバルで風船サービス、募金活動

協力者 市内ボランティア、小学校5校、中学校2校、高等学校1校、専門学校1校

○戸別募金・・・行政区ごと支部長へ依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み 市内小中学校7校へ依頼

○職域募金の依頼 東御市役所職員、信州うえだ農協職員、東御市社協職員

○東御市振興公社 温泉施設へ募金箱設置の依頼

○市内大手スーパー店頭へ募金箱設置の依頼

○市内企業（株式会社、有限会社等）へ企業募金の依頼

○自動販売機募金 道の駅「雷電くるみの里」、武道館、湯楽里館、総合福祉センター

(2) 赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎平成28年度赤い羽根募金収納総額 6,738,525円

<募金別内訳>

募金の種類	金額	内訳
戸別募金	6,252,241	6,827戸
街頭募金	93,220	市内8か所で実施
法人募金	102,000	18法人
学校募金	37,384	市内5校

職域募金	64,149	
イベント募金	30,002	
店頭、窓口募金、預金利子他	19,648	募金用通帳預金利子 29 円含
送金合計	6,598,644	
自動販売機募金	139,881	県共同募金会へ直接送金
収納総額	6,738,525	

(3) 共同募金会からの配分事業

◎28年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績 5,005,861 円

(平成 27 年度の収納額 6,759,861 円の実績から、東御市への配分金額)

<事業別配分内訳>

事業	金額	事業	金額
広報活動	2,201,861	ボランティア活動	450,000
障がい者への活動	250,000	啓発活動	156,000
児童への活動	740,000	多世代サロン	83,000
高齢者への活動	1,125,000	合計	5,005,861

(4) 災害見舞金

・住宅火災 2件 被災者 9人 20,000 円

2. 日本赤十字社事業

(1) 日赤奉仕団総会及び社資募集会議

- ・期 日 平成 28 年 4 月 27 日 (水)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 講堂
- ・参加者 72 人
- ・内 容 奉仕団総会 研修会 社資募集について

(2) 社資募集総額 社員数 5,793 人 4,244,400 円

(3) 健康生活支援講習会

- ・期 日 平成 28 年 6 月 13 日 (月)
- ・場 所 高齢者センター
- ・参加者 66 人
- ・内 容 ケガのない明るい生活 普段からの事故予防
講 師 日赤長野県支部 指導講師 篠原 雅子 氏
滝沢 亜矢 氏

(4) 一日赤十字 (炊き出し及び救急法講習会)

- ・期 日 平成 28 年 8 月 29 日 (月)
- ・場 所 高齢者センター

- ・参加者 76人
 - ・内容 心肺蘇生法（AED講習） 非常食の作り方・試食
 - ・講師 東御消防署職員 救急救命士 2人
協力者 グリーンアルテミス 6人
- ※9月4日（日）市の総合防災訓練で、各分団で非常食の炊き出し等行う

(5) 日赤奉仕団視察研修会

- ・期 日 平成28年11月9日（水）
- ・参加者 12人
- ・場 所 日赤赤十字社長野県支部

(6) イベント協力 赤十字活動

○子どもフェスティバルで非常食（ハイゼックス）おにぎり体験 415食

- ・期 日 平成28年5月14日（土）
- ・協力者 13人

○赤い羽根該当募金への協力

- ・期 日 平成28年10月1日（土）、8日（土）
- ・協力者 41人

○福祉の森ふれあいフェスティバルへの協力

非常食（ハイゼックス）おにぎり体験 459食

- ・期 日 平成28年10月22日（土）
- ・協力者 17人

○「障がい者福祉のつどい」の湯茶接待

- ・期 日 平成28年11月26日（土）
- ・協力者 4人

(7) 施設ボランティア活動体験 参加者34人

- ・期 日 平成28年11月28日（月）～12月3日（土）
- ・場 所 市内福祉施設 ケアポートみまき 10人、フォーレスト12人、
ハーモニック東部 12人

(8) 災害見舞

- ・住宅火災 2件 毛布 被災者 9人 9枚

3. 被災者義援金

(1) 東日本大震災（平成28年4月1日～平成29年3月31日現在）

28年度	22件	290,342円	
	(23年からの累計)	1,097件	40,235,377円)

(2) 平成28年熊本地震（平成28年4月1日～平成29年3月31日現在）

28年度	97件	4,621,123円
------	-----	------------

4. 社会福祉団体活動の支援

(1) 福祉団体交流ゲートボール大会

- ・期 日 平成 28 年 6 月 6 日 (月)
- ・参加者 6 団体
- ・参加者 100 人

(2) 福祉団体活動支援

1,440,000 円

○身体障害者福祉協会	420,000 円
○高齢者クラブ連合会	150,000 円
○手をつなぐ育成会	120,000 円
○遺族会	530,000 円
○更生保護女性会	60,000 円
○保護司会	160,000 円
合 計	1,440,000 円